

令和5年度  
(第31期)

# 事業報告書

自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日



公益財団法人 とかち財団



## 令和5年度事業報告書 目次

1 概況	-----	1
2 ものづくり支援事業【公益目的事業1】		
(1) 試験研究	-----	2
(2) 技術支援		
①技術指導・企業相談	-----	7
②検査分析	-----	9
③技術講習・研修	-----	9
④外部資金を活用した技術支援	-----	11
(3) 成果普及・地域PR		
①十勝ブランドの推進	-----	12
②情報発信・PR (展示会出展、技術支援成果普及等)	-----	14
(4) 施設の管理運営		
①北海道立十勝圏地域食品加工技術センター	-----	21
②十勝産業振興センター	-----	21
3 事業創発支援事業【公益目的事業2】		
(1) 事業化の加速支援		
①事業相談対応	-----	23
②共創型支援による連携イベント等	-----	24
③LANDサークル(学生コミュニティ)	-----	33
④LANDSCAPE(事業者情報発信)	-----	35
(2) 補助金・奨学金の給付		
①とちかちビジネスチャレンジ補助金	-----	35
②令和4年度補助金事業報告会等	-----	37
③LAND奨学金(学生起業家育成奨学金)	-----	37
(3) 施設の管理運営		
十勝事業創発支援センター「LAND」	-----	38

4	収益事業	-----	4 0
5	主要事業に関連する事項		
	(1) 視察依頼への対応	-----	4 0
	(2) 関係機関等が主催する会議等への参画・協力等	-----	4 0
6	管理運営事項		
	(1) 理事会	-----	4 2
	(2) 評議員会	-----	4 3
	(3) 行政特別委員会	-----	4 3
	(4) 資産運用委員会	-----	4 3
<参考>	令和5年度末日時点の組織体制・役職員の状況	-----	4 4

## 1 概況

十勝地域においては、産学官金の緊密な連携により、基幹産業である農林漁業を核とする地方創生の推進に向けた積極的な取り組みが進められている。

このような背景の下、地域の産業活性化への貢献を目標に掲げている当財団には、十勝の未来につなぐ「価値」の創出と向上を図るため、令和4年度からの5ヶ年で実施している「第3期産業活性化ビジョン」の取り組みを着実に進め、その成果を一層広げていくことが求められている。

第3期ビジョンでは、地域事業者の自立的な成長と事業展開を丁寧かつ緻密に支援することを実現戦略に掲げた上で、以下の3つの重点事項に基づき事業展開・組織運営を実施することとしている。

- ①ものづくり産業の競争力・生産性の向上（公1：ものづくり支援事業）
- ②事業創発の持続性の確立（公2：事業創発支援事業）
- ③組織運営の最適化

ビジョンの2年目にあたる令和5年度は、2つの公益目的事業を軸に、当財団が現在保有するリソース（拠点3施設、産業支援の経験・ノウハウ、人的ネットワーク等）を十分に活用しながら、効果的・効率的な事業展開・組織運営を図った。

ものづくり支援事業では、食品技術分野の試験研究として、地場産乳酸菌スターターを用いたチーズ生産の社会実装を進めたほか、機能性成分に着目した農産物加工技術に関する研究等に取り組み、新商品開発や地域資源の有効活用等を支援した。また、情報技術分野の試験研究として、豆類品質・品位評価判定の自動化技術の開発等に取り組み、生産現場の課題解決に資する装置・機械開発を支援した。あわせて、両分野の技術支援として、技術指導・企業相談への対応、検査分析・機器利用依頼の受入れ、技術講習・研修の開催等に取り組んだ。

さらに、成果普及・地域PRの取り組みとして、十勝ブランド推進の一環として登録制度を運営したほか、「第35回国際農業機械展 in 帯広2023」等への出展、「十勝エゾ鹿ジビエフォーラム」等の開催、インターネットの活用等により、試験研究等の成果や地域発の技術・商品に関する情報を積極的に発信・PRした。

事業創発支援事業では、事業化の加速支援（トカチコネクション）の一環として、事業相談への対応や、共創型支援（外部機関等との連携強化）によるビジネスコミュニティの形成促進に取り組み、多彩な創業・起業・事業創発の機会を創出することで、事業拡大や課題解決に結び付け、事業創発の持続性の確立を図った。

また、地域の意欲的な事業者が実施する新たなチャレンジに対し補助金を給付した。

あわせて、若年層のビジネス人材育成の一環として、十勝の地域資源を活用した事業で起業を目指す学生に対し奨学金を給付するとともに、ビジネススキルやアントレプレナーシップの習得を図ることを目的とする学生コミュニティ「LANDサークル」の運営を開始した。

組織運営の最適化に関しては、戦略的人事マネジメントの一環として、人材育成・能力活用の促進を図るため、職員評価育成制度の確立に向けた試行実施を行ったほか、業績や業務改善等に貢献した職員を表彰する制度の拡充を行った。

以上の取り組みを通じ、十勝の持続的な経済成長に寄与するプラットフォームとして、地域の産業活性化に貢献した。なお、関係機関との連携強化による一層の産業活性化を図るため、帯広畜産大学と連携協定締結に係る協議を進め、第5回理事会にて締結の決議を完了した。

## 2 ものづくり支援事業 【公益目的事業1】

### (1) 試験研究

食品技術分野及び情報技術分野の技術的課題の解決や新製品開発等を促進するため、地域連携を図り、必要に応じて外部資金事業を活用する形で、地域ニーズに対応したテーマに関する実用的な研究開発を実施した。また、その成果を地域へ積極的に発信することで、成果の浸透・定着及び利活用促進を図り、企業等による新事業創出等を推進した。

これにより、地域のものづくり技術力を強化し、質の高い価値創出・向上の促進を図った。

#### <食品分野>

表1 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
1	<p>乳製品を対象とした地域事業所向けの技術支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：地域乳製品の用途拡大、PR</li> <li>・ 内容：菓子や調理加工品等、2次加工用素材としてナチュラルチーズの用途拡大を目的とし、フレッシュチーズの一種であるブランの冷凍耐性を向上させるような製法・配合を確立した。さらに、地域企業が応用するための基礎データを取得した。今後、地域企業に広く情報提供する予定である。また、消費者向けのヨーグルト応用例として、十勝産原料と組み合わせた栄養評価付きレシピをPR資料として作成した。別途、十勝オリジナルチーズ作成のための有用微生物の情報を収集しており、今後、実用化の可能性を検討する予定である。</li> </ul>
2	<p>エゾシカ肉及び未利用部位を活用した製品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：未利用素材の有効活用、商品開発</li> <li>・ 内容：エゾシカ肉の商品開発として、スパイスコンフィ（レトルト）の配合及び製法を検討し、商品化となった。副産物の活用では、エゾシカ骨やスジ肉を使用したコンソメ及びフォンのレトルト試作品について味質分析を行い、製品化に繋げるデータを確保できた。ペットフード開発では、シカのオニスジ・あばら骨などについて、脂質の析出を抑制する加熱乾燥条件を検討し、得られた知見を基に商品化となった。これまでのエゾシカに関する研究開発を活かし、十勝管内エゾシカ関連業者との連携により、ジビエ産業の発展に繋げるよう、今後も支援を継続する。</li> </ul>
3	<p>機能性成分に着目した農産物加工技術の研究開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：赤ピーツに含まれる天然色素の退色防止、加工技術の開発</li> <li>・ 内容：試作ピーツジュースの保存試験を行い、色素量及び抗酸化活性に関する知見を得た。天然色素の退色を防止するための加工技術を検討した結果、常温8ヶ月保存品においても色素量及び抗酸化活性が保存開始時と同等以上の品質を維持できる新製法を開発した。従来、ピーツジュースは圧搾するだけの製法がとられており、色調劣化が早いという課題を抱えていたが、本研究はそれらの課題を解決できた。今後、地域企業に技術普及を図る。</li> </ul>
4	<p>地域産素材を活用した食品の技術支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：未利用素材の有効活用、たんぱく質素材の商品開発</li> <li>・ 内容：牛肉の低利用部位である肺（フワ）を活用するための課題解決として、不快臭改善効果が期待できるマスキング剤を選別し、官能評価と機器分析により得られた知見を基に加工条件を確立するとともに、加工商品例として複数の試作試験を実施した。また、大豆を用いた食品素材として、大豆ペーストレトルト品の加工条件を検討し、包装しやすい配合及び工程、色調劣化が少ないレトルト条件を確立した。今後、地域企業に情報提供を行う。</li> </ul>

表 2 (活用した助成金の一覧)




助成事業者	事業名及び内容
<p>公益財団法人 全国競馬・ 畜産振興会</p>	<p>畜産振興事業助成金</p> <p>「国産チーズ・イノベーション事業」(令和3～5年度)</p> <p>(日本獣医生命科学大学[中核機関]及び当財団を 共同実施主体とするコンソーシアムにより実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：地場産乳酸菌 starter を用いたチーズ試作実証による効果の確認と社会実装に向けた技術普及</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>商用乳酸菌 starter <i>L. paracasei</i> OUT0010 (チーズ工房の共同購入 による委託製造)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オリジナル乳酸菌 チーズ starter ガイドライン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オリジナル乳酸菌 モデルチーズ 製造事例集</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">財団ホームページで公開</div> </div>

表 3 (受託事業の内容一覧)

委託者	事業名及び内容
<p>学校法人 名古屋電気学園 (愛知工業大学)</p>	<p>「紫色色素の分析を基盤とした加工特性を向上させた小豆の育種を目指す 開発試験」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：小豆の品種特性と餡の紫色調の傾向に関する調査、加糖餡試験</li> <li>関連特許：「小豆餡の製造方法」 (特許第 7406770 号 令和 5 年 12 月 20 日登録)</li> </ul>

< 情報技術分野 >

表 4 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
<p>スマート 農業領域</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>馬鈴薯の精密農業実証 (可変制御技術) <ul style="list-style-type: none"> <li>目的：可変制御技術 (可変播種、可変施肥) による収量の安定化/均一化</li> <li>連携者：カルビーポテト株式会社、十勝農機株式会社</li> <li>内容：地力に応じて播種間隔/施肥量を調整し、収量への影響を評価する。</li> </ul> </li> <li>ISOBUS 対応 ECU と作業機の開発 (表 5: 「北海道」参照)</li> <li>農業生産性向上に資する可変農作業制御デバイス及びデータ駆動型農業インターフェースの構築 (表 5: 「経済産業省」参照)</li> <li>ロボットトラクタに対応した農作業機用制御装置の開発業務 (表 5: 「更別村」参照)</li> </ol>

<p>スマート ビジョン 領域</p>	<p>1. 馬鈴薯の精密農業実証（収量モニタ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：馬鈴薯の収量に基づき収量マップを作成する。</li> <li>・連携者：カルビーポテト株式会社、サンエイ工業株式会社</li> <li>・内容：画像処理技術とGNSSから得られる位置情報を連携して、圃場の収量と地力の関係を明らかにする。</li> </ul> <p>2. 豆類品質・品位評価判定の自動化技術開発 （表4：「公益財団法人日本豆類協会」参照）</p>
-----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

表5（共同研究等のテーマ及び活用した外部資金の一覧）

資金配分機関	事業名・テーマ名
北海道	<p>地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業（補助金）</p> <p>「ISOBUS対応 ECU と作業機の開発」（令和4～6年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：農作業の機械化及び効率化</li> <li>・協力機関：帯広畜産大学</li> <li>・内容：ISOBUS対応 ECU と電動化・電子制御化システムを市販の機械式ポテトプランタに組み込んだ作業機（写真）の試作開発機に可変播種や可変施肥などの精密農業対応機能を実装するためのタスクコントローラ機能を追加実装し、また十勝農協連が普及を推進する営農管理システム（TAFシステム）とのデータ連携にも対応した作業機の試作開発を実施している。</li> </ul> 
経済産業省	<p>成長型中小企業等研究開発支援事業</p> <p>「農業生産性向上に資する可変農作業制御デバイス及びデータ駆動型農業インターフェースの構築」（令和4～6年度）</p> <p>（株式会社農業情報設計社（中核機関）・当財団・ノーステック財団を共同実施主体とするコンソーシアムにより実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：農業生産性向上</li> <li>・内容：農業情報設計社が開発するデバイスに対して ISOBUS 予備認証試験サービスを提供する準備として、ISOBUS 認証ツールの使い方及び ISOBUS 解析ツールの学習等を実施した。次年度以降は ISOBUS 認証ツールを契約し、本格的に予備認証試験サービスを提供する。</li> </ul>
公益財団法人 日本豆類協会	<p>豆類振興事業助成金</p> <p>「豆類品質・品位評価判定の自動化技術開発」（令和3～5年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：評価判定作業効率化</li> <li>・協力機関：帯広市川西農業協同組合（JA 帯広かわにし）</li> <li>・内容：熟練検査員が有する知識や経験を最新の画像処理技術で実現し、品質・品位の評価を一定程度自動化するとともに、検査基準を定量化することで合理的な評価を行うことができる装置を開発した。今年度は、製品化に向けた装置の小型化や実務者による精度検証を実施した。</li> </ul>   <p>豆類検査装置（小型化）</p> <p>実務者による精度検証（JA 帯広かわにし）</p>



更別村	<p>更別村スーパービレッジ推進事業（委託事業）</p> <p>「ロボットトラクタに対応した農作業機用制御装置の開発業務」（令和5年度）  （NECソリューションイノベータ株式会社、帯広畜産大学、更別村農業協同組合、東洋農機株式会社、ヤンマーアグリ株式会社、当財団で構成する協働体により実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：ほ場作業の自動化による農業生産性向上</li> <li>・内容：現在市販されている真空播種機は、欠株等の異常発生時にトラクタの操作者に対して警報を発生する仕様となっているが、ロボットトラクタを用いた無人作業時には欠株等の発生時に自動停止するなど播種不良を最小限に抑える対応を自動的に行う必要がある。本業務は、真空播種機を用いた播種作業においてロボットトラクタを使用可能とする真空播種機欠株対応制御装置を開発し、提供するものである。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

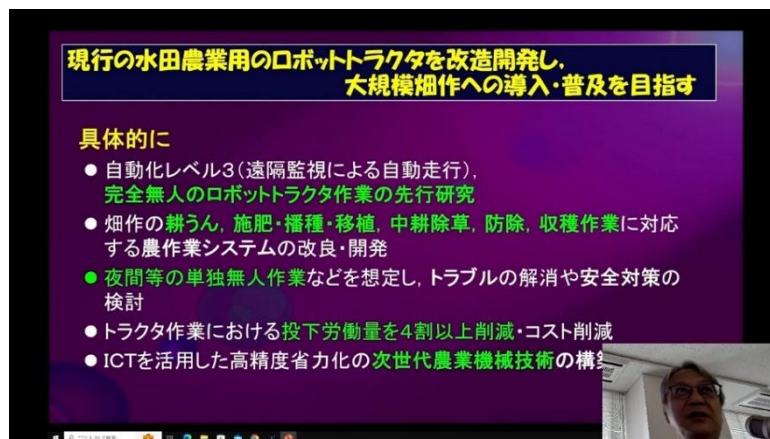
表6（ISOBUS普及推進会の運営支援）

区分	内容						
目的等	十勝の主要産業の一翼を担う農業機械産業を中心に、ISOBUSに対応した農業機械の普及を促進するために設立された産学官連携体「ISOBUS普及推進会」について、試験研究の一環として、当財団が事務局を担う形でその運営を支援している。						
設立年月日	平成30年8月9日						
事業年度	毎年8月1日から7月31日まで						
構成メンバー	<p>役員（3名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長：金山 紀久（当財団理事長）</li> <li>・最高顧問：野口 伸（北海道大学 農学研究院 副研究院長・教授）</li> <li>・監事：山田 政功（十勝農業機械協議会 会長）</li> </ul> <p>支援機関（6機関）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学ならびに関係機関</li> </ul> <p>アドバイザー（7名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長が支援機関等から指名した適任者</li> </ul> <p>後援団体（7機関）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政機関ならびに関連団体</li> </ul> <p>会員（合計39名・事業所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝及び道内に拠点を有する作業機メーカーなど</li> </ul> <p>【会員の内訳】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">正会員</td> <td style="text-align: right;">36</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賛助会員（法人・団体）</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賛助会員（個人）</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> </table>	正会員	36	賛助会員（法人・団体）	2	賛助会員（個人）	1
正会員	36						
賛助会員（法人・団体）	2						
賛助会員（個人）	1						

主な活動実績

令和5年度 スマート農業情報提供としての動画公開

- ・令和5年4月21日 スマート農業と ISOBUS Part 2
- ・令和5年5月14日 スマート農業と ISOBUS Part 3
- ・令和5年7月5日 第35回国際農業機械展 in 帯広 2023 出展案内
- ・令和5年7月6日 速報！開催初日第35回国際農業機械展 in 帯広 2023
- ・令和5年7月23日 第35回国際農業機械展 in 帯広 現地レポート
- ・令和5年9月8日 ISOBUS 普及推進会定期総会 基調講演
- ・令和5年9月8日 ISOBUS 普及推進会定期総会 2022年度事業報告
- ・令和5年9月29日 苗床自動化 Nursery Automation
- ・令和5年11月13日 AGRITECHNICA 2023 Preview day digest
- ・令和6年3月18日 AGRITECHNICA2023 視察レポート



ISOBUS 普及推進会定期総会 基調講演より

令和5年8月9日 令和5年度総会



(2) 技術支援

①技術指導・企業相談

企業等による技術的課題の解決や新製品開発等の促進を図るため、研究員が技術相談に対応するとともに、必要に応じて研究員を生産現場等に派遣し、直接的な指導及び助言を実施した。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、研究開発・技術支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化した。

表 7 (技術相談件数) [現地技術指導を含む]

年度	相談件数	相談内訳	
		食品技術	情報技術
R5	829	574	255
R4	872	621	251
R3	940	666	274

表 8 (市町村別相談件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
275	21	8	11	2	31	13	125	13	30
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
8	4	48	25	2	20	8	5	3	177

表 9 (市町村別相談事業者数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
99	10	5	5	2	9	8	33	6	11
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
5	4	18	9	2	11	4	2	3	106

表 10 (ものづくりワンストップ相談会の開催実績)

開催日	相談対応職員	共催
R5. 9. 27 (2件) R5. 12. 18 (2件)	水谷 香子 高谷 政宏	帯広信用金庫・帯広畜産大学・とち財団

表 11 (技術指導を行った地域活性化プロジェクト)

プロジェクトの内容	
株式会社明治とフードバレーとかち推進協議会の包括連携協定に基づく 「十勝ヨーグルトプロジェクト」への技術支援 (平成 30 年度～)	
【目的】 十勝の乳の価値向上による産業振興・地域活性化	
【内容】 株式会社明治が発見した十勝産生乳由来の新乳酸菌「十勝ミルク乳酸菌 TM96」を使用したヨーグルト製品の開発	
【主な支援】 製品開発に向けたプロジェクト参画事業者への技術指導	
【参画事業者】 十勝地域の乳製品製造企業等 6 社	

表 12 (講師・アドバイザー派遣実績)

<食品技術分野>

区分	派遣日等	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師派遣	R5. 4. 27	めむろファーマーズマーケットあいす屋 「食品工場及び店舗における衛生管理」	芽室町	川原 美香
講師派遣	R5. 7. 11	北海道立農業大学校 「農畜産加工起業概論」	本別町	水谷 香子
アドバイザー派遣	R5. 8. 5	一般社団法人日本チーズ協会 日本チーズ認証基準策定普及推進委員会	帯広市	清水友紀子
講師派遣	R5. 11. 21	十勝総合振興局 「賞味期限の考え方と設定方法について」	帯広市	水谷 香子
講師派遣	R6. 1. 10 R6. 1. 11	JICA 国別研修マレーシア 「食品の品質・衛生管理強化を通じた地域産業開発」 【第 1 日】「とかち財団の取組み」 「地域向けの衛生管理支援」 【第 2 日】「食品の賞味期限について」	帯広市	川原 美香 水谷 香子
講師派遣	R6. 3. 8	一般社団法人日本チーズ協会 「国産乳酸菌スターター添加で美味しいチーズ」	オンライン	高谷 政宏

<情報技術分野>

区分	派遣日等	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師派遣	R5. 7. 27	JICA 農業・農村 DX/スマートフードチェーン 共創に向けた産学官人材育成コース 「十勝地域における ISOBUS 普及の取組み」	帯広市	葛西 大介 松原 慎吾

## ②検査分析

企業等の生産・製造活動の側面的支援を図るため、企業等からの依頼により、原材料・試作品・製品の品質評価等に係る試験・検査及び分析、成績書の発行を実施した。

これにより、企業等の課題解決に向けた取組みを促進し、ものづくり技術力の強化を図った。

<食品技術分野>（食品の成分分析や理化学測定、微生物検査）

表 13（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		依頼試験	依頼分析	謄本発行
R5	31	13	18	0
R4	30	7	23	0
R3	31	10	19	2

※主な依頼試験項目：一般生菌数、大腸菌群、ブドウ球菌数

※主な依頼分析項目：灰分、水分、タンパク質、脂質 等

<情報技術分野>（鉄筋やコンクリートの強度試験、パークゴルフ用具等の検定試験）

表 14（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		引張強度試験	圧縮試験	パークゴルフ用具等
R5	402	87	141	174
R4	368	124	84	160
R3	236	120	31	85

## ③技術講習・研修

ものづくりに関する技術者の育成を図るため、基礎・応用技術や商品開発等の知識習得を目的とした、専門的かつ実践的な技術者養成セミナー・講習会・研究会を実施するとともに、研究員による直接的な指導により技術習得を促進するため、企業等の技術者を研修生として受け入れた。

これにより、十勝の産業を支える技術者の実践的な人材育成を図った。

<食品技術分野>

### [1] 微生物検査に関する実技講習会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、食品の品質・衛生管理に必要な微生物検査技術の習得を目的とした、少数限定の実技講習会を開催した。（会場：食品加工技術センター）

表 15 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R5. 5. 30 R5. 6. 1	「実践、微生物検査の基礎」(初級編：一般生菌数、大腸菌群) 講師：ものづくり支援部 食品技術グループ 研究主査 水谷 香子、研究員 横山 真由子	6
R5. 6. 6 R5. 6. 8	「実践、微生物検査の基礎」(中級編：黄色ブドウ球菌、サルモネラ) 講師：同上	3

## [2] 官能評価に関する実技講習会

地域食品産業における食品開発・品質評価の技術力向上及び人材育成を目的に、食品を取り扱うにあたって重要な指標となる官能評価の基礎的手法の習得を支援する実技講習会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

表 16 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R5. 7. 12	「官能評価講習会 基礎編」 講師：ものづくり支援部 食品技術グループ 研究主任 高谷 政宏	7
R5. 7. 14	「官能評価講習会 実践編」 講師：同上	5

## [3] 十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会

十勝地域のナチュラルチーズ業界における品質管理体制の強化を図るため、チーズ製造及び品質管理に関する知識の習得をはじめ、情報等の共有や意見交換を目的とする研究会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

表 17 (研究会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	出席者数
R5. 12. 4	「十勝ラクレット農水省 GI 登録の経緯と展望」 講師：十勝ナチュラルチーズ協議会 事務局長 中林 司 氏	10
R6. 3. 21	「十勝チーズ研究センターの紹介とチーズに関する情報共有」 講師：株式会社明治 チーズ開発グループ 高石 真樹 氏	12

## [4] 技術研修生の受け入れ

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、企業等からの技術研修生の受け入れ等に取り組み、食品加工技術者の技術習得を促進した。

表 18 (研修生受け入れ実績)

受入期間	研修内容	受入人数
R5. 8. 24	官能評価の基礎知識習得	5

<情報技術分野>

[1] オンデマンド型技術セミナー

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援するため、企業ニーズに特化した内容で開催するオンデマンド型の実技講習会を開催した。(会場：十勝産業振興センター)

表 19 (セミナー開催実績)

開催期間	テーマ等	受講者数
R5. 7. 27～ R5. 7. 28 (全 2 回)	2次元 CAD 講習会 (JW-CAD の操作を中心とした初級者向け実技講習) 講師：総務管理部 総務管理グループ 副主幹 西條 大輔	1
R6. 2. 13 (全 1 回)	CAN 解析ソフトウェア講習会 (CANoe の初級者向け実技講習) 講師：ものづくり支援部 情報技術グループ 研究主査 松原 慎吾	2

[2] 精密農業勉強会

地域の農業に関わる生産者・機械メーカー企業の技術力向上・人材育成のため、精密農業をテーマにした勉強会を開催した。(会場：十勝産業振興センター)

表 20 (セミナー開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R6. 1. 26	「第 1 回 精密農業勉強会」 講師：もうたい農場 代表 馬渡 智昭氏 (招待講演) 講師：ものづくり支援部 情報技術グループ 研究副主幹 菅原 崇 講師：ものづくり支援部 情報技術グループ 研究主査 松原 慎吾	24

④外部資金を活用した技術支援

北海道の「地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業」補助金を活用し、製造業へのデジタル技術の導入・応用を図るための農作業機の実装等のデモンストレーション・技術支援により、地域企業の生産性向上に取り組んだ。

表 21 (活用した補助事業)

補助元	事業名
北海道	「地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業」 内容：①デジタル技術の導入・活用デモンストレーション ②スマート農業技術普及に資する情報提供 期間：令和 4～6 年度

### (3) 成果普及・地域PR

試験研究・技術支援の成果、及びその利活用等により実用化された地域産の商品・技術等について、インターネットの活用や展示会への出展等により、その情報を積極的に発信・PRした。

これにより、事業成果等を効果的・広域的にPRし、成果の利活用を促進するとともに、財団事業に対する認知度・理解度の向上を図った。

#### ①十勝ブランドの推進

特徴ある十勝産加工食品の品質・付加価値を客観的に評価し、その認知度を高めることにより、地域の個性や魅力を象徴する「十勝ブランド」を守り育て、地域産業の活性化に繋げるため、「十勝ブランド登録制度」を実施した。

これにより、さらに質の高い「価値」となり得る十勝ブランドの推進を図るとともに、登録品の効果的なPRや事業者間の連携を促進した。

表 22 (十勝ブランド登録制度の概要)



区分	内容
対象	十勝産加工食品
登録基準	(1) 十勝産原料を51%以上使用した食品であること (2) 次のいずれかを満たしていること I. 十勝地域で製造されている II. 十勝の事業者が製造主体である (3) 適正な営業・製造許可を受け、法令を遵守していること
付加価値基準	商品の魅力や付加価値を『バリュー』として認定し、それを★の数で表示 (1個～最大5個) (1) 登録基準 (★1個) I. 登録基準をクリア =★1個 (2) コアバリュー (最大★2個) I. 十勝産原料比率が80%以上の商品(産地証明の提出が必要) =★1個 II. 唯一無二である または、十勝ならではの価値や特徴がある =★1個 (3) プラスバリュー (最大★2個) コアバリュー以外の魅力・付加価値がある (最大★2個) <b>【例】</b> 受賞経験、第三者認証、オーガニック原料、トクホ など
登録方法	登録を希望する事業者が任意で申請し、審査委員会による審査を経て登録
審査	有識者による「十勝ブランド登録審査委員会」が基準に基づいて審査し、全員一致で認められたバリューだけが認定される
登録料	無料(ただし、任意参加のPR事業は参加負担金あり)
登録期間	無期限(ただし、定期の内容確認あり)
登録マーク	 



表 23 (十勝ブランド登録状況)

[令和6年3月末日現在]

事業者数	登録品数	主な種類
51	184	チーズ、乳製品、パン、お菓子、農産加工品、畜産加工品、飲料・酒類、調味料

表 24 (市町村別十勝ブランド登録事業者数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
17	2	0	1	1	5	4	4	1	0
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	—
2	2	4	2	0	4	1	1	0	—

表 25 (十勝ブランド 主な活動状況)

開催日・期間	内容
R5.7.6～	十勝ブランドパンフレットの作成・配布(13,000部)
R5.7.15 ～R5.10.9	<p>十勝ブランドスタンプラリーの開催(37店舗) 【応募総数】521件(うち全店制覇:129件)</p> 
R5.9.2 ～R5.9.3	<p>「とがちマルシェ」への参加(11店舗)</p>  
R5.10.26	北海道職員に対するチーズ幹旋販売(9社)

表 26 (ホームページの公開・運営状況)

区分	公開内容
<p>十勝ブランド 登録制度 ホームページ</p> <p>令和5年7月 トップページ リニューアル</p>	<div data-bbox="598 367 1222 714" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="740 745 1080 772" style="text-align: center;"> <a href="https://www.tokachi-brand.jp">https://www.tokachi-brand.jp</a> </p>

②情報発信・PR



[1] 展示会・商談会等への出展

試験研究・技術支援成果の利活用等により実用化された地域発の商品・技術等をPRし、その販路拡大を支援するため、首都圏等で開催される展示会・商談会等に出展した。

表 27 (FOOMA JAPAN 2023 (国際食品工業展) への出展)

開催期間	開催内容
<p>R5. 6. 6 ～R5. 6. 9</p>	<p>「FOOMA JAPAN 2023 (国際食品工業展)」</p> <p>会場：東京ビッグサイト</p> <p>内容：十勝管内の食品加工機械の販路拡大を目的に、展示会への出展を支援した。これまでは当財団主体による共同出展を実施していたが、参加していた2社に自立出展（主催者との出展調整等）の道筋が整ったため、今年度は各社の独自出展が可能となった。当財団は出展手続きやブース運営に関する補助・助言、出展製品の開発協力者として技術的説明を補助する商談支援等の側面支援を実施した。</p> <p>共同出展者：株式会社フクザワ・オーダー農機（芽室町） ノブタ農機株式会社（帯広市）</p> <p>全出展社数：953社 来場者数：106,104人（4日間、うち海外3,708人）</p> <div data-bbox="448 1671 855 1975" style="display: inline-block; width: 50%;"> </div> <div data-bbox="876 1671 1327 1975" style="display: inline-block; width: 50%;"> </div>

表 28 (FOODEX JAPAN 2024 (国際食品・飲料展) への出展)

開催期間	開催内容
R6. 3. 5 ~R6. 3. 8	<p>「FOODEX JAPAN 2024 (国際食品・飲料展)」</p> <p>会場：東京ビッグサイト</p> <p>内容：十勝管内食品事業者の販路拡大と十勝地域の PR を目的に、「北海道十勝物産館」の事務局を務め、参加事業者の展示会出展を支援する。コロナ禍での 3 年間の出展見送りを経て昨年度より出展を再開し、今年度は新規を含め 20 社で出展した。</p> <p>その結果、全体の来場者数、出展社数とも昨年を大きく上回り、海外からのバイヤーも増加していた。これに伴う商談も活況で、複数の商談継続先・成約見込先を得た出展者が多く、今後の成約・販路拡大に繋がることが期待される。</p> <p>十勝からの出展企業数：20 社 (新規 2 社・復活 4 社)                      ※うち 2 社はトライアル出展 (2 日間出展)</p> <p>全出展社数：2, 879 社 (国内 1, 072 社、海外 60 カ国・1, 807 社)                      来場者数：76, 183 人 (4 日間)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

[ 2 ] 試験研究・技術支援成果の普及・情報発信

ものづくりに関する有用な技術情報を発信するとともに、成果発表会や技術研究会の開催等により、試験研究・技術支援成果の普及に努めた。

これにより、事業成果等を広範囲に拡大させ、より一層の利活用を促進することで、財団事業への認知度・理解度の向上を図った。

< 食品技術分野 >

表 29 (成果発表会の開催実績)

開催日	開催内容	開催場所	出席者数
R5. 9. 22	<p>「食加技 Presentation Day」</p> <p><b>【食品分野のものづくり支援・地域連携支援の広域的発信及びその成果普及のための成果発表会】</b></p> <p>(1) 基調講演 [オンライン]</p> <p>「心と体を整える時間栄養学                      ~体内時計を整える食べ方・生活の仕方~」</p> <p>講師：兵庫県立大学 教授 永井 成美 氏</p>	十勝産業 振興センター 大会議室	43


R5. 9. 22	<p>(2) 発表等</p> <p>①食品加工技術センター活用のご案内  ②相談対応事例のご紹介  ③LANDを通じた事業創発支援のご紹介  ④新規国産チーズスターターのご紹介  ⑤十勝産スペルト小麦の高付加価値加工方法の開発  ⑥十勝産エゾシカ肉における加工品質に関する研究  ⑦色調が優れた小豆餡の製造技術</p> 	十勝産業 振興センター 大会議室	43
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------	----

表 30 (十勝圏地域食品加工技術者の会 開催実績)

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
R5. 8. 28	「包装資材の機能と役割について」 講師：凸版印刷株式会社 課長 有本 共行 氏	食品加工技術 センター	10
R5. 11. 27	「十勝産大豆を用いた豆腐作りの公開実習」	幕別町ふるさと 味覚工房	5

表 31 (十勝エゾ鹿ジビエフォーラム 開催実績)

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
R6. 1. 23	<p>目的：全国的に注目されているジビエ産業における、十勝のエゾ鹿ジビエの新たな食産業としての発展</p> <p>対象：エゾ鹿ジビエに係る事業所や団体、狩猟従事者、飲食店、行政機関等</p> <p>内容：講演①「資源化を支える衛生管理」  講師：一般社団法人エゾシカ協会 専務理事/事務局長  国立研究開発法人森林研究・整備機構  森林総合研究所 主任研究員 松浦 友紀子 氏</p> <p>講演②「狩猟業界のDX化で若手ハンターの活躍の機会を創出」  講師：株式会社 Fant  代表取締役 高野 沙月 氏</p> <p>取組紹介「十勝産エゾ鹿の品質に関する研究紹介」  紹介者：ものづくり支援部 食品技術グループ  研究主査 水谷 香子</p>	LAND	27



表 32 (当財団共催事業「スクラム十勝シンポジウム」での発表・PR実績)

開催日	事業・会議等の名称及びPR内容	開催方法/場所 参加者数
R5. 10. 24	<p>スクラム十勝シンポジウム 2023 ～食料安全保障の強化に向けて～</p> <p>発表テーマ：「十勝産エゾシカ肉における加工品質に関する研究」 発表者：ものづくり支援部 食品技術グループ 研究主査 水谷 香子</p> 	<p>とかちプラザ (ハイブリッド方式)</p> <p>参加人数 合計 142 名</p>

表 33 (ホームページの公開・運営状況)

区分	公開内容
食品加工 技術センター 専用ホームページ	 <p><a href="https://www.food-tokachi.com">https://www.food-tokachi.com</a></p>

<情報技術分野>

表 34 (「第 35 回国際農業機械展 in 帯広 2023」への出展)

開催期間	開催内容
<p>R5. 7. 6～ R5. 7. 10</p> <p>会場の様子 (動画)</p> 	<p>第 35 回国際農業機械展 in 帯広 2023 会場：帯広市北愛国交流広場 内容：情報技術グループが事務局を務める「ISOBUS 普及推進会」として、これまでの取り組み成果を周知し、会の設立趣旨である作業機の ISOBUS 対応によるスマート化を普及・推進することを目的に、国内外の農業機械、施設、農畜産物の加工機械などに関する最新の技術や情報を紹介する標記展示会に出展し、当財団が開発した ISOBUS 認証済みゲートウェイ ECU、ISOBUS 対応ポテトプランターを展示するとともに、豆類検査装置等についても紹介・展示した。</p> <p>ブース来場者数：約 300 人 (5 日間)</p> 

表 35 (関係機関等主催事業等での発表・PR実績)

開催日	事業・会議等の名称及びPR内容	開催場所
R6. 3. 14	<p>十勝農業機械化懇話会 講演会 発表テーマ：「AGRITECHNICA2023 視察レポート」 発表者：ものづくり支援部 情報技術グループ 研究主任 松原 慎吾 備考：視察レポートの動画は表 35 の YouTube チャンネルにて配信中</p>	とちかち プラザ

表 36 (ホームページ・YouTube の公開・運営状況)

区分	公開内容	閲覧数
<p>成果品 PR のための 技術開発・製品開 発内容詳解サイト</p> 	 <p>https://www.tokachi-foundation.com</p>	<p>合計 1,799 回 (R5 実績)</p>
<p>情報技術グループ YouTube チャンネル 「とかテク ch.」</p> 	 <p>https://www.youtube.com/@TokaTechCh</p>	<p>合計 34,000 回 (R5 実績)</p>

< 共通 >

表 37 (ホームページの公開・運営状況)

区分	公開内容
<p>とかち財団 ホームページ</p>	 <p>https://www.tokachi-zaidan.jp/index.php</p> <p>食品加工技術センター・十勝産業振興センターの施設概要紹介 業務内容、研究成果、設備機器一覧、各種書式のダウンロード等</p>

[ 3 ] 地域連携の促進支援

地域産業の高度化・複合化に欠かせない地域連携・人的ネットワーク構築の促進を図るため、事業の共催等により交流機会の創出に取り組み、また関係機関等の主催する会議等へ積極的に参画・協力した。

表 38 (帯広畜産大学「産学官金連携交流会」の共催実績)


開催日	開催内容等	開催方法/場所 参加者数
R5. 9. 25	産学官金連携交流会 “大人のオープンキャンパス” 「これからの乳牛飼養のあり方とは」 (講演セッション：2 テーマ、交流セッション)	帯広畜産大学 (ハイブリッド方式) 参加人数 合計 218 名
R5. 12. 7	産学官金連携交流会 mini ～未利用資源の活用編 Part2～ (講演セッション：3 テーマ、交流セッション) 	帯広畜産大学 (ハイブリッド方式) 参加人数 合計 69 名

表 39 (その他の事業共催・会議参加実績)

開催日	開催内容等	開催方法/場所 参加者数
R5. 10. 24	スクラム十勝シンポジウム 2023 の共催 ～食料安全保障の強化に向けて～ ・共催機関による研究成果発表：6 テーマ (共催：帯広畜産大学、北農研センター芽室研究拠点、 道総研十勝農業試験場、同畜産試験場、 家畜改良センター十勝牧場、当財団)	帯広畜産大学 (ハイブリッド方式) 参加人数 合計 142 名
R6. 1. 23	北海道開発計画調査説明会への参加	当財団から 3 名参加

表 40 (INPIT 北海道知財総合支援窓口)

窓口対応の内容	相談内容/件数
一般社団法人北海道発明協会(札幌市)が運営する「INPIT 北海道知財総合支援窓口」の帯広サテライトが食品加工技術センターに設置されており、テレビ会議システムを通じて地域企業が同協会担当者に特設相談を行うことに係る窓口対応を担当した。	著作権及び 商標登録に 関する相談 3 件



(4) 施設の管理運営

ものづくりに関する試験研究・技術支援を効果的に実施するため、技術支援施設（北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝産業振興センター）の保守管理、設備・機器の利用提供等を実施した。

これにより、施設の基本機能を十分に発揮し、利用者サービスの向上を図った。

①北海道立十勝圏地域食品加工技術センター（指定管理業務）

表 41（施設利用件数）

年度	利用件数	内訳	
		機器等	研修室
R5	157	154	3
R4	160	159	1
R3	191	188	3

表 42（施設利用時間）

年度	利用時間	内訳	
		機器等	研修室
R5	464	446	18
R4	358	355	3
R3	458	449	9

②十勝産業振興センター（財団所有施設）

表 43（設備機器利用件数等）

年度	利用件数	利用時間
R5	63	206
R4	57	156
R3	66	160

表 44（十勝地域機械製品開発ツール普及促進事業）

年度	利用件数	備考
R5	7	委託者：帯広市 内容：3Dプリンタ・CAEツール等の 利活用促進・保守管理等
R4	9	
R3	4	

表 45 (会議室利用件数)

年度	利用件数	内訳	
		大会議室	中会議室
R5	332	175	157
R4	320	192	128
R3	288	154	134

表 46 (会議室利用人数)

年度	利用人数	内訳	
		大会議室	中会議室
R5	10,417	7,957	2,460
R4	9,753	7,196	2,557
R3	8,807	6,279	2,528

### 3. 事業創発支援（公益目的事業2）

#### （1）事業化の加速支援

十勝地域における創業・起業・事業創発を具体的に支援するため、地域の産業支援機関や事業者等との連携・協業（共創型支援）により、ビジネスプランの構築・強化や不足要素の補強支援等を実施するプログラム「トカチコネクション」を運営した。

これにより、地域で創出された「事業の種」を育成し、支援対象者の事業拡大・加速化を図った。

#### ①事業相談対応

表 47（事業創発相談件数）

年度	相談件数	相談内訳								
		起業 創業	新規 事業	人材 育成	商品 開発	販路 拡大	資金 獲得	知的 財産	地域 連携	その 他
R5	524	120	67	15	21	51	97	3	107	43
R4	365	96	52	9	9	22	68	0	73	36
R3	375	68	91	36	13	16	38	6	80	27

表 48（市町村別相談件数）

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
272	30	3	10	14	0	4	17	1	0
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
7	10	10	4	4	4	4	2	6	122

表 49（市町村別相談事業者数）

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
144	8	3	7	7	0	3	8	1	0
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
5	2	10	3	1	2	3	1	5	91

## ②共創型支援による連携イベント等

### 【地域活性化ビジネス相談所「0-KISOU」】

十勝の起業家等に対するファイナンス機能を有する「合同会社コントレイル」等との協業により、起業・創業等に必要となる専門的アドバイスを行う地域活性化ビジネス相談所「0-KISOU」を開催した。

表 50 「0-KISOU」開催実績

区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 協力：合同会社コントレイル、帯広市
対象者	十勝地域で起業・創業を目指す者、新たな事業展開を目指す事業者
開催日	毎月第2火曜日（月1回の定期開催）
場所	LAND
参加可能枠	4枠/月（相談時間：1枠あたり最大1時間30分）
活動実績	<p>① 令和5年度の対応件数：6件（6社） （参考：前年度10件[9社]）</p> <p>② 相談所開設（令和3年度）からの法人設立等の実績：通算11社（準備中3社） うち令和5年度：5社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同会社ニセントワークス（帯広市）</li> <li>・株式会社川瀬不動産（池田町）</li> <li>・株式会社ママのHOTステーション（音更町）</li> <li>・行政書士法人とかちパートナーズ（帯広市）</li> <li>・株式会社MX（帯広市）</li> </ul>




### 【補助金って何？使ってみない？補助金説明会】

LANDを利用する地域事業者には各種補助金の情報を提供し、事業展開に有効活用してもらうことを目的に、北海道内の産業支援機関等による令和5年度の補助金事業等の情報を一元的に収集できる説明会を実施した。

十勝地域で主に女性に対する起業等の支援活動を実施している「十勝〇〇婦人部<sup>(※)</sup>」と共催し、同団体による補助金活用事例紹介を加えたことで、単なる各種補助金の情報発信に留まらず、有効活用のイメージ形成の促進を図った。

※十勝の女性起業家や様々なフィールドで活動する女性が集まり、起業支援セミナーや相談会等を実施することで、十勝で「自分らしく」働き、横の繋がり支え合うコミュニティを作ることを目指して活動を行う団体。

表 51 (補助金説明会開催実績)


区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 共催：十勝〇〇婦人部
対象者	補助金の活用を検討している十勝管内の事業者、個人事業主
開催日時	令和5年4月20日 15:00～17:00
場所	LAND
参加者数	38名（現地参加23名、オンライン15名）
活動実績	<p>&lt;説明団体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済産業省北海道経済産業局</li> <li>・株式会社日本政策金融公庫</li> <li>・公益財団法人北海道中小企業総合支援センター</li> <li>・帯広市経済部商業労働課</li> <li>・帯広信用金庫</li> </ul> 

【Ezofrogs 連携イベント「地域課題解決アイデアソン・Ezofrogs 説明会」】

13～25 歳程度の北海道在住学生を対象に、約半年間の研修を通じてアントレプレナーシップを身に付ける人材育成プログラムを実施する「一般社団法人 Ezofrogs」と連携し、新たなアイデア創出を目的に地域課題解決アイデアソン<sup>(※)</sup>を共催した。

※アイデアソン：アイデアとマラソンを掛け合わせた造語で新たなアイデアの創出を目的とした短期間で実施するプログラム。プログラムは多様な参加者が設定された目的やテーマについて短期間でアイデアを出し合い、アイデアの優先順位の協議を実施して、具体化を見据えた採択を目指す。

表 52 (Ezofrogs 連携イベント開催実績)

区分	内容
構成	主催：一般社団法人 Ezofrogs 共催：公益財団法人とかち財団
対象者	地域課題解決に関心のある北海道の若年層
開催日時	令和5年5月27日 13:00～17:00
場所	LAND
参加者数	5名（大学生3名、高校生2名）
活動実績	<p>&lt;ゲスト登壇者&gt;</p> <p>株式会社ファームノート 代表取締役 下村 瑛史氏</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登壇者の講話を聴講した後、「〇〇×テクノロジー」をテーマに、地域課題解決に繋がるアイデアソンを実施した。</li> </ul> 

【LAND 大交流会】(当財団単独主催)

LAND 利用者同士の交流機会を設けることにより多彩な創業・起業・事業創発の機会を創出することを目的とした異業種交流会を実施した。

表 53 (LAND 大交流会開催実績)

① 今年度第 1 回 (夏の！LAND 大交流会)

区分	内容
開催日時	令和 5 年 6 月 27 日 18:00～20:00
場所	LAND
参加者数	27 名
活動実績	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>①LAND からの取り組み紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共創型事業創発支援の実績紹介や、取り組みの PR を行った。</li> </ul> <p>②参加者コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流促進を目的に、1 分間で参加者が実施事業や取り組みを PR できる時間を設けた。</li> </ul>



② 今年度第 2 回


区分	内容
開催日時	令和 5 年 12 月 1 日 18:00～20:00
場所	LAND
参加者数	43 名
活動実績	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>①LAND からの取り組み紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共創型事業創発支援の実績紹介や、取り組みの PR を行った。</li> </ul> <p>②参加者コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流促進を目的に、1 分間で参加者が実施事業や取り組みを PR できる時間を設けた。</li> </ul>



【北海道中小企業家同友会とかち支部連携イベント「押忍！ビジネスお悩み解決道場」】

起業準備中や起業・創業して間もない参加者と、北海道中小企業家同友会とかち支部の会員で十勝において活躍する先輩経営者が、経営にまつわる知識・経験・ネットワークをシェアすることを目指したイベントを実施した。

表 54 (押忍！ビジネスお悩み解決道場 開催実績)

区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 共催：一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部
対象者	① 起業準備中または起業・創業して間もない方 ② 起業希望者や起業家を支援する経営者
開催日時	令和5年7月25日 18:00～19:30
場所	LAND
参加者数	参加者数：14名（うち、起業創業者5名、先輩経営者9名）
活動実績	<p>&lt;テーマ&gt; 「ピンチ！逆境の連続！波乱万丈の経営・起業人生 全部見せます！」</p> <p>&lt;登壇者&gt;（2名）</p> <p>①株式会社 ChipS 代表取締役社長 及川 抄織 氏</p> <p>②株式会社スマヒロ 代表取締役兼 CEO 北川 宏 氏</p> 


【Tokachi EGGs (トカチ エッグス)】

十勝の将来を担う若年層に対し、地域課題の解決を通じてビジネスの役割を理解してもらおうとともに、起業への意欲を喚起することを目的に、高校生が企画運営する課題発見・解決プログラムを共催した。

参加学生が発表した地域課題解決案の一部は、本プログラム終了後も実現に向けた活動を継続している。また、本プログラムをきっかけに、新たに「やりたいこと」を見つけた参加学生が実際に起業した。

表 55 (Tokachi EGGs 開催実績)

区分	内容
構成	主催：CAN-PASS（高校生団体） 共催：公益財団法人とかち財団 協力：帯広市
対象者	十勝地域の高校生
開催日程	令和5年8月2日（水）～8月5日（土）
場所	LAND、その他フィールドワーク各所
参加者数	17名


活動実績	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>①地域課題の選定及びその解決に向けたフィールドワーク (第1日～第3日：4班に分かれて実施)</p> <p>②地域事業者による講話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2日：株式会社 ELF 代表取締役 大久保 航也 氏</li> <li>・第3日：広尾町地域おこし協力隊 錦古里 大河 氏</li> </ul> <p>③フィールドワーク結果（解決案）の発表会（第4日）</p>	
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

### 【帯広インデペンデンツクラブ】

ベンチャー企業の育成・支援を実施する「認定NPO法人インデペンデンツクラブ」と連携し、十勝地域の起業家の資金調達・提携先確保の支援を目的に、主催者が全国各地で実施するイベント<sup>(※)</sup>を共催した。

※上場を志向する起業家が「資金調達」「提携先獲得」「人材募集」等を目的に、ビジネスプランや事業モデルについてプレゼンテーションを行い、これを支援するサポーター（VC、金融機関、上場会社、監査法人、コンサル等）と意見交換・交流を図るイベント

表 56（帯広インデペンデンツクラブ 開催実績）


区分	内容	
構成	主催：認定NPO法人インデペンデンツクラブ 共催：公益財団法人とかち財団 協力：帯広市	
対象者	登壇者の事業内容に関心のある事業者	
開催日時	令和5年8月24日 15:00～17:30	
場所	LAND	
参加者数	26名	
活動実績	<p>&lt;登壇者&gt;</p> <p>①特別セッション 株式会社勝毎ホールディングス 代表取締役 林 克彦 氏</p> <p>②事業計画発表（2社） 株式会社ファームノート ホールディングス 取締役 本多 壮一郎 氏 フォレストデジタル株式会社 代表取締役 辻木 勇二 氏</p>	



### 【北海道宇宙サミット 2023】

昨年に引き続き、十勝地域の関係機関・事業者とともに実行委員会を組成し、北海道における「宇宙版シリコンバレー創出」の機運を醸成することを目的としたビジネスカンファレンスの運営に参画した。

表 57（北海道宇宙サミット 開催実績）

区分	内容
構成	北海道宇宙サミット実行委員会 (構成員：大樹町、SPACE COTAN 株式会社、十勝毎日新聞社、当財団)
対象者	宇宙産業に関心の高い地域内外の事業者、新事業創出に関心の高い地域内外の事業者等
開催日程	令和 5 年 10 月 11 日、12 日
参加者数	カンファレンス出席者：約 800 名 オンライン配信 (YouTube) 視聴者：約 2,200 名
場所・内容	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>第 1 日：大樹町</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロケット射場ツアー</li> <li>・レセプション</li> </ul> <p>第 2 日：帯広市 (会場：ベルクラシック帯広)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンス</li> <li>・ミートアップ</li> </ul> </div> <div style="flex: 1;">  </div> </div>



### 【十勝アグリ&フードサミット】

十勝の一次産業と食をテーマに地域内外の参加者の交流による事業創発を図ることを目的に、当財団の主催により、北海道宇宙サミット 2023（第 2 日）と同日・同会場にてビジネスカンファレンスを開催した。



表 58（十勝アグリ&フードサミット開催実績）


区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 共催：一般社団法人 AgVenture Lab、株式会社日本政策金融公庫、国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学、フードバレーとかち推進協議会、株式会社クナウパブリッシング

構成	<p>協力：北海道宇宙サミット実行委員会  後援：総務省北海道総合通信局、農林水産省北海道農政事務所、経済産業省北海道経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構、北海道十勝総合振興局、一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部</p>
対象者	十勝の産業を活性化する新事業創出に関心の高い地域内外の事業者等
開催日時	令和5年10月12日 9:00～16:30
参加者数	延べ328名 (事業創発ビジネスマッチング53名、トークセッション285名)
活動実績	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>①事業創発ビジネスマッチング  一次産業・食分野・地域資源等を中心とした十勝地域での新たな事業創発に意欲のある道内外の企業24社(管内12社、管外12社)が参加し、商談会及び名刺交換会を行った。</p> <p>②トークセッション1  「十勝・北海道の地域資源とグローバルスタートアップの連携」  ・登壇者：Norwegian Mycelium  共同創設者 デビッド・アンドリュー・クイスト 氏  Trusted株式会社 CEO ファリザ・アビドヴァ 氏  Startup Hokkaido 田中 美帆 氏  ・モデレーター：一般社団法人AgVentureLab 代表理事 荻野 浩輝 氏</p> <p>③トークセッション2  「食！農！サーキュラーエコノミー！」  ・登壇者：環境大善株式会社 代表取締役 窪之内 誠 氏  株式会社 komham 代表取締役 西山 すの 氏  fabula株式会社 代表取締役 町田 紘太 氏  ・モデレーター：事業創発支援部 事業創発グループ 主任 植田 康裕</p> <p>④トークセッション3  「道東・地方創生！ローカルビジネス最前線！」  ・登壇者：株式会社いただきますカンパニー  代表取締役 井田 芙美子 氏  有限会社竹下牧場 代表取締役 竹下 耕介 氏  株式会社山上木工 専務取締役 山上 裕一朗 氏  ・モデレーター：事業創発支援部 事業創発グループ 課長 高橋 司</p> <p>⑤その他  フードマーケット「とかちいいものマーケット」  (プロデュース：株式会社クナウパブリッシング)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

【北海道経済産業局連携イベント「アウトドア X (クロス) イノベーション in 十勝」】

アウトドアと他産業の掛け合わせによる十勝発のアウトドアビジネス創出に向けた、十勝地域内外の様々な業種の事業者による意見交換・マッチングイベントを実施した。

表 59 (アウトドア X イノベーション in 十勝 開催実績)

区分	内容
構成	主催：経済産業省北海道経済産業局 共催：公益財団法人とかち財団 協力：北海道十勝総合振興局、十勝 19 市町村
参加対象者	十勝地域でのアウトドアによる新たな価値創造に意欲のある道内企業 (業種・企業規模は問わず)
開催日時	令和 5 年 12 月 19 日 14:30~18:30
場所	北海道ホテル
参加者数/ 活動実績	<p>参加企業・団体数：42 (管内企業 14、管外企業 10) 参加業種：観光業、不動産業、通信業、 食品製業等 参加者数：78 名 (オブザーバー、事務局含む)</p>  <p>※同時開催 (主催：帯広市、共催：北海道経済産業局) ・セミナー「アドベンチャートラベルによる地域振興の可能性」 講師：株式会社美ら地球 代表取締役 山田 拓 氏</p>

【Tokachi Innovation Caravan】

十勝管内の事業者が欧州スタートアップの技術を取り入れ、更なる事業拡大・成長を行っていくために、欧州スタートアップとのマッチング機会提供と、十勝の参加事業者に対して更なる事業成長に向けた意識変革を図るための欧州スタートアップによるピッチイベントを実施した。

表 60 (Tokachi Innovation Caravan 開催実績)


区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団、START UP HOKKAIDO 共催：帯広市
参加対象者	欧州スタートアップとの連携を希望する事業者、その他関心のある事業者、学生、自治体担当者、JICA、JETRO、今後の通訳者候補等
開催日	令和 6 年 2 月 5 日 9:00~19:00
場所	連携候補事業者サイト及び LAND
参加者数/ 活動実績	<p>内容：①サイト視察 (連携候補となる事業者の現地視察) ・北王農林株式会社 ・帯広地方卸売市場会社 ・帯広畜産大学/上川大雪酒造株式会社 (碧雲蔵) ②欧州スタートアップによるピッチイベント・十勝事業者との交流会</p>

参加者数/ 活動実績	<p>参加者数：サイト視察参加者 25 名、ピッチイベント参加者 36 名          &lt;うち海外企業：8 社&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ORANGE WASABI：わさびのバーティカルファーミング技術</li> <li>・AVISOMO：バーティカルファーミングの最適化ソフトウェア</li> <li>・Arctic Farming：小規模バーティカルファーミング技術</li> <li>・AIO：食品廃棄物を発酵させオイル製品を開発</li> <li>・Norwegian Mycelium：代替タンパク質の開発</li> <li>・sensonomic：写真から農作物の病気や収量予測を行う PF を開発</li> <li>・AgriTechNordic：北欧の農・食技術支援機関</li> <li>・A+F&amp;GROW Accelerator：シンガポールの農・食関連支援機関</li> </ul> 
---------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【爆風 ～十勝で新たな風を起こす若きイノベーターが大集合～】(当財団単独主催)

十勝地域の学生の起業意欲を喚起することによる若年層ビジネス人材の育成等を目的として、全国で活躍する学生 6 名を招聘したトークイベントを実施した。



表 61 (爆風 開催実績)

区分	内容
参加対象者	主に十勝地域の大学・短大・専門学校生及び高校生
開催日	令和 6 年 2 月 24 日 14:00～17:00
場所	LAND
参加者数	28 名
活動実績	<p>登壇者：① 東京大学 1 年 高原 大雅 氏          ② 明治大学 4 年 蓮見 大聖 氏          ③ 昭和女子大学 3 年 菅原 瑞季 氏          ④ 北海道大学大学院 修士 2 年 村井 誠剛 氏          ⑤ 北海道教育大学岩見沢校 1 年 三寺 綸 氏          ⑥ 帯広緑陽高等学校 2 年 森 陽香 氏</p> 

【ソーシャルビジネスについて学ぶ！～資金調達からロジックモデルまで～】

十勝におけるソーシャルビジネス（社会課題解決型ビジネス）の創発及び既存事業者の事業継続性向上及びLANDコーディネーターの同ビジネスの支援におけるスキル向上を目的に、ソーシャルビジネスの資金調達の専門家を招聘したセミナーを実施した。

表 62（ソーシャルビジネスについて学ぶ！開催実績）

区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 共催：帯広市
参加対象者	社会課題解決型事業を検討している方、既に取り組んでいる方、行政関係者、学生
開催日	令和6年3月21日 14:00～16:00
場所	LAND
参加者数	21名
活動実績	<p>講師：ソーシャルセクターパートナーすくらむ 代表 久保 匠 氏</p> <p>内容：講義及びワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ型のビジネスとソーシャルビジネスの違い</li> <li>・ソーシャルビジネスの資金調達手段</li> <li>・ロジックモデルの考え方</li> <li>・事例紹介 等</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

③LAND サークル

事業創発の持続性の確立に向けた若年層ビジネス人材育成の一環として、十勝地域の大学・短大・専門学生を対象に、ビジネススキルやアントレプレナーシップの習得を図ることを目的とする学生コミュニティ「LAND サークル」の運営を令和5年度より開始した。

表 63（LAND サークル活動実績）

区分	内容
対象者	十勝地域の大学・短大・専門学校生
加入者数	22名（帯広畜産大学21名、帯広高等技術専門学院1名）

活動実績	<p>①「キックオフイベント」【令和5年6月3日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動の開始に際し、加入者間での活動趣旨の共有、ならびに対外発信を図るためのイベントを実施した。</li> </ul> <p>②「全体ミーティング（個別目標宣言会）」【令和5年7月3日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加入者がサークルを通じて取り組みたいアクションや、習得したいスキル等を「個別目標」として宣言・共有するミーティングを実施した。</li> </ul> <p>③「iU 大学連携プログラム」【令和5年9月4日～7日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在学中の起業に対して単位認定を行っている東京都の「情報イノベーション専門職大学（iU 大学）」と連携し、十勝の地域資源を有効活用したビジネスプランを4日間で考案するフィールドワーク型のワークショップを実施した。</li> </ul>  <p>④「学生と企業がつながるトークイベント」</p> <p>【令和5年9月29日】</p> <p>登壇者：e-Combu 錦古里 大河 氏（広尾町地域おこし協力隊）</p> <p>【令和5年11月24日】</p> <p>登壇者：オフィス・シロ 岩崎 量示 氏（写真家）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスを学ぶ上でのロールモデルとなる企業・地域プレイヤーの知識や経験に触れ、新しい視点や知見を得ることで、加入者の取り組みの促進や新たな挑戦に繋げることを目指すトークイベントを実施した</li> </ul> <p>⑤「十勝地域×函館地域 LT（ライトニングトーク）大会」</p> <p>【令和6年3月26日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化を目的に活動している函館地域の大学生団体「IsaribiWith」と LAND サークル生の取組みを相互に紹介する交流イベントをオンラインで実施した。</li> </ul>  <hr/> <p>&lt;参考：これまでの活動を契機に生まれた、加入学生の自主的な動き&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道大学が主催するビジネスプログラムへの参加</li> <li>・ジビエの利活用に係る試作開発品のイベント出展（十勝アグリ&amp;フードサミット「フードマーケット」へのブース出展）</li> <li>・農福連携・障害福祉分野の事業者へのヒアリング実施</li> <li>・tokachi ice park plus（帯広駅前で12月下旬～2月中旬まで開催した屋外スケート場）での物品販売事業の実施</li> <li>・食品衛生責任者の資格取得（2名）</li> </ul>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### ④LANDSCAPE

事業創発促進を目的に十勝で新しい取り組みを進めている事業者や、十勝の事業者との協業に関心が高い首都圏企業の取り組みを取材・発信するウェブメディア「LANDSCAPE」を LAND 公式ホームページ内に設置し、インターネットを活用した情報発信に取り組んだ。

表 64 (LANDSCAPE による事業者情報発信)

区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 共催：フードバレーとかち推進協議会
記事公開数	49 件（うち令和 5 年度 20 件）
URL	https://land.or.jp/landscape.php
公開画面	 <p>The screenshot shows the LANDSCAPE website interface. At the top, there is a navigation bar with the LAND logo and menu items: 'はじめてのLAND', 'NEWS', '事業相談', 'LAND ビジネスサービス', '発見する!', and 'アクセス'. Below the navigation bar, there are several featured articles. The main article on the left is titled '#40「日本最北端の宮大工として、さらにそれにとどまらない存在として」' by 菅原 雅重さん from 株式会社おかげさま. To the right, there are smaller article cards for 小松 輝さん, 鈴木 敏文さん, 鹿野 淳さん, and 関向 樹志さん. Each card includes a photo of the author, their name, a brief description of their article, and a date. At the bottom of the page, there are more article cards and a yellow 'up' arrow button.</p>

## (2) 補助金・奨学金の給付

### ①とかちビジネスチャレンジ補助金

事業者による新たなチャレンジを支援するため、十勝地域の意欲的な事業者に対し、設立年数や取り組み内容に応じて補助金を支給した。

これにより、新たな価値創出に取り組む人材を育成するとともに、新事業や既存事業の拡大成長を図った。

表 65 (補助金募集・採択経過)

区分	内容
対象事業 (共通)	①新規事業構想の確立、新製品等の開発 ②事業の競争力・生産性向上 ③事業の拡大・成長（販路開拓等）

対象者 補助率 上限額	<b>【アーリーステージ】</b> ・対象者；設立5年以内の事業者（設立予定を含む） ・補助率：10分の10（定額補助） ・上限額：300万円 <b>【グロースステージ】</b> ・対象者；設立6年以上の事業者 ・補助率：3分の2 ・上限額：400万円
募集期間	令和5年3月1日～4月7日
応募数	17件（アーリーステージ15件、グロースステージ2件）
選考 手続き等	・選考委員会による選考 一次選考（書類）：令和5年4月13日～26日 二次選考（プレゼン）：令和5年5月29日・30日実施 ・採択者説明会：令和5年6月12日実施

表 66（採択者4件：アーリーステージ3件・グロースステージ1件）

ステージ	事業者名	事業内容	補助額
アーリー	株式会社スマヒロ （帯広市）	求人マッチングWebメディア「TCRU（テイクル）」で十勝に“ひと”を呼び込み十勝創生を実現	3,000,000円
アーリー	株式会社New Pan Hokkaido （帯広市）	～北海道産牛肉をDX/WEB3技術を活用し海外市場で販売～	3,000,000円
アーリー	株式会社十勝平野蒸溜所 （幕別町）	スピリッツ蒸溜所設立に係る十勝産スピリッツの開発とブランディング	2,992,578円
グロース	株式会社なまら十勝野 （芽室町）	十勝産サツマイモのブランディングと地域経済活性化への挑戦	2,473,333円




採択者のプレス発表 令和5年6月12日実施  
（採択者説明会と同時に実施）



## ②令和6年度「とちぎビジネスチャレンジ補助金」説明会&令和4年度事業報告会

表 67 (事業報告会開催実績)

区分	内容
開催日	令和6年3月15日 16:30~19:00
場所	LAND
参加者数	46名 (うち報告会参加36名)
報告者	<p><b>【令和4年度補助金採択者：4名】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社 Fant 代表取締役 高野 沙月 氏</li> <li>・株式会社更別プリディクション 代表取締役 岡田 昌宏 氏</li> <li>・十勝空旅舎 篠田 博行 氏</li> <li>・合同会社ピロロ企画 代表社員 保志 弘一 氏</li> </ul> 

## ③LAND 奨学金 (学生起業家育成奨学金)

事業創発人材の持続的な育成を図るため、十勝地域で創業・起業・事業創発に将来取り組むためのビジネススキル習得を希望する学生に対し、奨学金を給付した。

これにより、創業等を目指す学生層の拡大を図り、起業家精神を持つ有能な人材の輩出を促進した。

表 68 (奨学金募集・採択経過)

区分	内容
対象者	十勝地域を拠点とした事業、または十勝地域の資源等を活用した事業で起業を目指す学生
給付額 給付期間	年間20万円 (5ヶ月間、月額4万円)
募集期間	令和5年3月6日~4月19日
応募数	13件
選考 手続き等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選考委員会による選考 一次選考 (書類) : 令和5年4月25日~5月19日 二次選考 (プレゼン) : 令和5年6月10日実施</li> <li>・採択者説明会 : 令和5年7月1日実施</li> <li>・活動報告会 : 令和5年11月25日実施</li> </ul>

表 69 (採択者 3 名)

氏名	所属	ビジネスプラン名・概要
名合 虎之介	北海道大学 工学院 材料科学専攻 博士後期課程 1 年	「グリーンプレミア農業」 農業分野における脱炭素化を進めるため、多様な農業機械に適合する CO2 回収装置の開発及び販売を目指す。
布川 舞桜	北海道教育大学 札幌校 教育学部 言語社会専攻 4 年	「Tasuki」 外見に悩む学生と美容学生をつなぐマッチングプラットフォーム “Tasuki” の事業化を目指す。
大砂 百恵	小樽商科大学 商学部 経済学科 2 年	「e-Combu」 昆布を活用し、牛のゲップに含まれるメタンガス抑制効果のある飼料添加物の開発及び販売を目指す。



LAND 奨学金事業活動報告会「Presentation Day」  
(令和 5 年 11 月 25 日)

### (3) 施設の管理運営

事業創発支援を効果的に実施するため、事業創発支援施設（十勝事業創発支援センター「LAND」）の保守管理及び設備の利用提供等を実施した。

これにより、施設の基本機能を十分に発揮し、利用者サービスの向上を図った



表 70 (利用者数・ビジネスサービス登録件数)

区分	実績	内訳					ビジネスサービス登録件数
		仕事	相談	打合せ	イベント	その他	
令和元年度 (8月～3月)	3,909	880	83	934	1,580	432	-
令和2年度	3,065	920	69	1,143	458	475	18
令和3年度	2,749	873	180	1,214	398	84	7

令和4年度	4,215	1,653	223	1,242	1,001	96	22
令和5年度	4,828	2,193	324	1,110	1,133	68	21
合計	18,766	6,519	879	5,643	4,570	1,155	68

※会議室等の専有使用に際し、当財団の支援対象となる事業を有しているかを事前に確認するため、使用者（ビジネスサービス）登録制度を導入している。

表 71（ビジネスサービス登録関連サービス）

実施内容
<p>(1) 住所レンタルサービス：9社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LANDの住所を事業拠点として名刺やホームページ等に表示することができるサービス（法人登記、開業住所、口座開設等への利用は不可）</li> </ul> <p>(2) 郵便物受取サービス：9社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LANDにて郵便物の受取を代行するサービス（郵便物の到着後、受付にて連絡・保管・引渡を行う）</li> </ul>

表 72（ホームページ・SNSによる情報発信）

区分	内容
ホームページ	<a href="https://www.land.or.jp">https://www.land.or.jp</a> (令和5年4月にページ全体をリニューアル)
facebook	<a href="https://www.facebook.com/LAND.tokachi/">https://www.facebook.com/LAND.tokachi/</a>
X (旧 Twitter)	<a href="https://twitter.com/LandTokachi">https://twitter.com/LandTokachi</a>
Instagram	<a href="https://www.instagram.com/land.tokachi/">https://www.instagram.com/land.tokachi/</a>
YouTube	<LANDチャンネル> <a href="https://www.youtube.com/channel/UCv6Z-_a1RT_dpWSt1ghqq-A">https://www.youtube.com/channel/UCv6Z-_a1RT_dpWSt1ghqq-A</a>



@land.tokachi



@LAND.tokachi



@LandTokachi



## 4 収益事業

食品技術分野の技術ニーズに対応可能な評価事業（食品関連評価事業）を実施し、地域ニーズを幅広く反映させた技術力高度化等を図った。

表 73（食品関連評価事業）

コース名	受入件数
賞味期限設定のための支援コース	4件
味覚センサーを用いた味質評価コース	9件

## 5 主要事業に関連する事項

視察・研修依頼への対応、関係機関との連携・協力を以下のとおり実施した。

### （1）視察依頼への対応

表 74（主な視察対応内容）

期間	方法	団体名等	内容
R5.12.8	視察受入	帯広農業高校 食品科学科3年	食品加工技術センターについて

### （2）関係機関等が主催する会議等への参画・協力等

表 75（道内の関係機関が主催する会議等への主な参画・協力実績）

主催機関・事務局等	会議等の名称	備考
フードバレーとかち推進協議会（帯広市）	フードバレーとかち推進協議会	
帯広市	フードバレーとかち人材育成事業 運営委員会	
帯広市	帯広市産業振興会議	委員
帯広市	とかち観光誘致空港利用推進協議会	副会長
帯広市	十勝バイオガス関連事業推進協議会	幹事
帯広市、（一社）とかち地域活性化支援機構	帯広地域雇用創出促進協議会	監事
帯広商工会議所	とかちマルシェ推進協議会	幹事

帯広商工会議所	とちち創業支援ネットワーク会議	
帯広商工会議所等	とちち商工産業振興会議（とちちづくり会議）	オブザーバー
帯広信用金庫	とちち・イノベーション・プログラム	
帯広畜産大学	スクラム十勝	
帯広畜産大学	帯広畜産大学地域連携フェロー	フェロー委嘱2名
帯広畜産大学	人体及びヒト試料研究倫理審査委員会	委員
帯広畜産大学	学生と地域がつながるまちづくり支援事業運営会議	構成員
帯広畜産大学	産学連携センター外部評価委員会	委員長
十勝農業機械化懇話会	十勝農業機械化懇話会	
経済産業省北海道経済産業局	北海道地域産業技術連携推進会議	
北海道	北海道科学技術審議会「地域懇談会」	
北海道	ものづくり技術支援ネットワーク会議	
北海道	十勝地域中小企業支援ネットワーク	
（地独）北海道立総合研究機構	北のものづくりネットワーク会議	
（公財）北海道科学技術総合振興センター	北海道技術振興連絡協議会	
（公財）北海道科学技術総合振興センター	チャレンジフィールド北海道（産学融合拠点創出事業）	
（NPO）グリーンテクノバンク	広報誌「グリーンテクノ情報」編集委員会	委員

## 6 管理運営事項

### (1) 理事会

#### ①第1回

開催日	令和5年6月2日(金)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	11名(理事9名、監事2名)
報告事項	1. 理事選考委員会の結果について 2. 令和5年度事業経過報告(第1回)について
決議事項	1. 令和4年度事業報告及び決算の承認について 2. 評議員会の開催について

上記事項について了承・決議された。

#### ②第2回(定款第34条に基づくみなし決議)

決議があったものとみなされた日	令和5年6月25日(日)
決議事項	1. 理事長(代表理事)1名の選定について 2. 副理事長3名の選定について 3. 評議員会の開催について

上記事項について決議された。

#### ③第3回

開催日	令和5年11月28日(火)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	10名(理事8名、監事2名)
報告事項	1. 令和5年度事業経過報告(第2回)について
決議事項	1. 就業規則の一部改正について

上記事項について了承・決議された。

#### ④第4回

開催日	令和6年2月27日(金)
開催場所	十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	9名(理事7名、監事2名)
報告事項	1. 規則の一部改正について(理事長専決による改正報告)
決議事項	1. 令和6年度事業計画及び収支予算について

上記事項について了承・決議された。

#### ⑤第5回(定款第34条に基づくみなし決議)

決議があったものとみなされた日	令和6年3月18日(月)
決議事項	1. 株主議決権の行使について 2. 帯広畜産大学との連携協定の締結について 3. 旅費規程の一部改正について

上記事項について決議された。

⑥第6回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和6年3月28日（木）
決議事項	1. 評議員会の開催について

上記事項について決議された。

（2）評議員会

①第1回：定時評議員会（一般法人法第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和5年6月25日（日）
決議事項	1. 令和4年度事業報告及び決算の承認について 2. 任期満了に伴う理事の選任について 3. 評議員の選任について

上記事項について決議された。

②第2回（一般法人法第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和5年7月11日（火）
決議事項	1. 評議員の選任について

上記事項について決議された。

（3）行政特別委員会

委員構成	十勝地域19市町村の行政機関担当者等
開催日	令和6年2月13日（火） ※オンライン併用のハイブリッド開催
出席者	委員18名、オブザーバー1名
報告事項	1. 令和5年度事業経過報告について 2. 基本財産等の状況について
協議事項	1. 令和6年度事業計画（案）について 2. 令和6年度運営負担金について

上記事項に関する報告・協議を行い、その内容について了承された。

（4）資産運用委員会

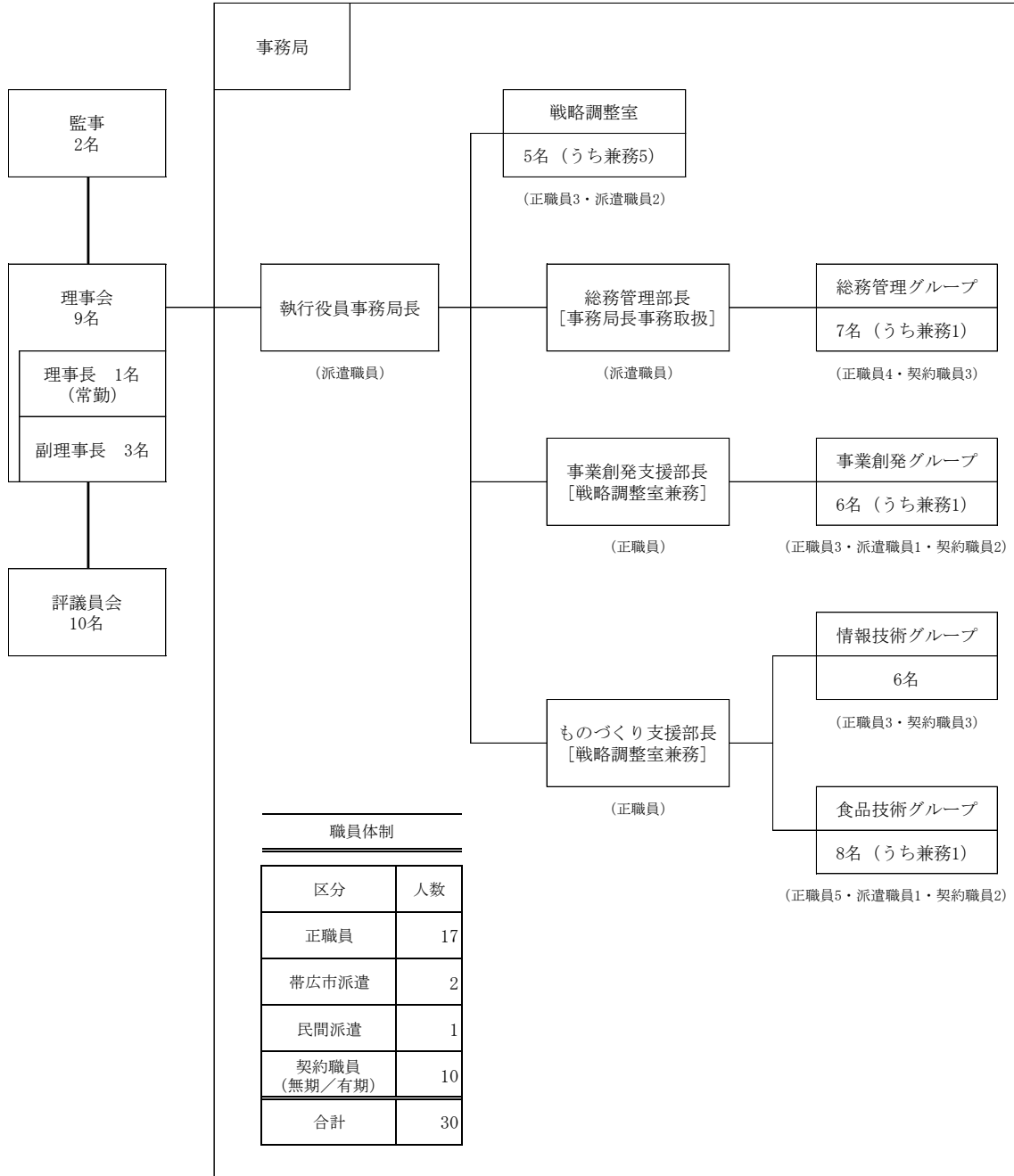
委員構成	理事・評議員のうち理事長が指名する3名
開催日	令和6年1月17日（水）
出席者	委員3名（理事2名、評議員1名）
報告事項	1. 資産運用の状況について
協議事項	1. 委員長の選出について 2. 今後の資産運用について

上記事項に関する報告・協議を行い、その内容について了承された。

以上

<参考> 令和5年度末日（令和6年3月31日）時点の組織体制・役職員の状況

(1) 組織図・役職員数





(2) 役員等一覧

<理事> 任期：2年（令和7年度定時評議員会の完結まで）

区分	氏名	所属・役職等	備考
理事長	金山 紀久	常勤（元 帯広畜産大学 理事・副学長）	
副理事長	有塚 利宣	十勝地区農業協同組合長会 会長	
副理事長	米沢 則寿	帯広市 市長	
副理事長	川田 章博	帯広商工会議所 会頭	
理事	渡邊 信之	株式会社アルプス技研 取締役副社長	
理事	高橋 常夫	帯広信用金庫 理事長	
理事	竹中 貢	十勝町村会 会長	
理事	長澤 秀行	帯広畜産大学 学長	
理事	芳賀 是則	北海道十勝総合振興局 局長	令和6年3月31日辞任

<監事> 任期：4年（令和7年度定時評議員会の完結まで）

区分	氏名	現職等	備考
監事	山田 政功	十勝農業機械協議会 会長	
監事	和田 賢二	株式会社山正 代表取締役	

<評議員> 任期：4年（令和7年度定時評議員会の完結まで）

区分	氏名	現職等	備考
評議員	相澤 充	株式会社アルプス技研 顧問	
評議員	石橋 強	北海道十勝管内商工会連合会 会長	
評議員	井原 久	東北海道木材協会 会長	
評議員	梶原 雅仁	十勝観光連盟 会長	
評議員	亀田 元教	十勝管内漁業協同組合長会 会長	
評議員	佐藤 光輔	株式会社北洋銀行 執行役員 帯広中央支店長	
評議員	鈴木 雅博	十勝農業協同組合連合会 代表理事会長	
評議員	寺嶋 義信	一般社団法人帯広消費者協会 専務理事	
評議員	萩原 一利	一般社団法人帯広建設業協会 会長	
評議員	林 隆義	有限会社林製パン工場 代表取締役	